

[English follows Japanese]

モーリーン・アンド・マイク・マンズフィールド財団ニュースレター

2021年10月31日

第25期マンズフィールドフェロー近況報告

9月より、それぞれの受入機関で研修を開始した第25期マンズフィールドフェローの活動(視察や会議参加、出張等)の一部を写真報告。

[プログラム詳細](#)

[フェローの研修先受入機関リスト](#)

マエダ・ジャレッド・レイン・孝治

(米国議会 議会予算局 保健医療、退職、長期分析課 首席アナリスト(保健医療担当))

受入機関: 国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED)



左から: 三島良直理事長、ジャレッド・マエダ、城克文理事、野田正彦国際部長



三島理事長との面談



AMED 職員と

サラ・トレッティン

(米国教育省 教育・技術局 管理・プログラムアナリスト)

受入機関: 文部科学省 初等中等教育局



世田谷区教育委員会委員とともに、駒繫小学校訪問

レイニア・トロイ・ビヤヌエバ

(米国空軍 少佐 C-17A パイロット)

受入機関: 株式会社総合防災ソリューション



(左から)しながわ防災体験館、津波・高潮ステーション(大阪)、菊池政巳総合防災ソリューション社長と

その他 財団関連ニュース

CFM 会合: 元米国世界女性問題担当大使ケリー・E・カーリー氏を招いて

10月6日、マンズフィールド財団は、ケリー・E・カーリー元米国世界女性問題担当大使を招いて、[コーポレート・フレンズ・オブ・マンズフィールド\(CFM\)](#)のオンライン会合を開催した。カーリー氏はミャンマー国軍のクーデターが東南アジア諸国の国際ビジネスの利益に及ぼす影響について語った。

第26期マンズフィールド・フェロシップ・プログラム: 第2回フェロー向けウェビナー・シリーズ

マンズフィールド財団ワシントン DC 本部は10月12日、来年夏に来日予定の第26期マンズフィールドフェロー向け

ウェビナーシリーズの2回目の会合を実施した。本会では、ワシントン・カレッジ政治学部の[アンドリュー・オロス教授](#)が「高齢化する同盟国(Aging Allies)」というテーマで、日本など米国との同盟国が直面している急速な高齢化社会の問題がインド太平洋地域の安全保障にどのように影響しているかについて講義した。オロス教授は、マンフィールド財団が運営する[日米次世代パブリック・インテレクチュアル・ネットワーク・プログラム](#)の第2期参加者及び[ルース・アジア・スカラー・ネットワーク・プログラム](#)の第1期スカラーでもある。

日米友好基金トーマス・S・フォーリー議員交流プログラム近況報告

10月19日、米国連邦議会議員3人が民間セクター・学界の日米関係専門家数名とともに、ワシントンDCで行われた故トーマス・S・フォーリー大使の未亡人であるヘザー・フォーリー夫人主催夕食会に参加した。故フォーリー大使は、米国連邦議会下院議長(1989年～1995年)、駐日米国大使(1997年～2001年)等を歴任。長年に渡って公職に就き、日米関係の強化に向けて強いリーダーシップを発揮したことで知られている。今回、フォーリー夫人は、議員間交流だけではなく、日米関係専門家から学ぶ機会として、過去に[フォーリー議員交流プログラム](#)に参加した日本訪問団メンバーや今後のプログラムに関心がある連邦議会議員を招待した。

マンフィールド・PhRMA 研究者プログラム: 第6回オンラインセミナー開催

10月21日、マンフィールド財団は、[米国研究製薬工業協会\(PhRMA\)](#)の支援を受けて実施している「[マンフィールド・PhRMA 研究者プログラム](#)」の一環として、同窓スカラーを対象としたオンラインセミナーを開催した。第6回目となる本セミナーでは、株式会社日本総合研究所リサーチ・コンサルティング部門ヘルスケア・事業創造グループのシニアマネジャーである川崎真規氏を招き、「ポストコロナに望まれる日本のあるべき医療の姿を考える」をテーマとして、参加者との意見交換が行われた。川崎氏による「持続可能で質の高い医療提供体制構築に関する提言」は、以下の日本総研のウェブページから視聴可。

日本総研 HP: [ポストコロナに望まれる日本のあるべき医療の姿](#)

ルース・アジア・スカラー・ネットワーク・プログラム: 第1期生モンタナ・リトリート実施

10月22日から25日の週末にかけて、マンフィールド財団が[ヘンリー・ルース財団](#)からの支援を受けて運営する[ルース・アジア・スカラー・ネットワーク・プログラム](#)の第1期生のリトリートがモンタナ州ホワイトフィッシュで実施された。これは、新型コロナウイルスのパンデミックが始まって以来、マンフィールド財団が実施した初めての対面プログラムとなった。スカラー10名(うち1名はシンガポールからバーチャル参加)、シニアアドバイザー5名、国務省からの特別ゲスト2名、そしてマンフィールド財団スタッフ2名が参加し、スカラーは各々の研究や米国・アジア関係についての議論を深めた。また参加者はグレイシャー国立公園にて3時間程のハイキングを行い、美しいモンタナの自然を楽しむ機会も得た。



第 27 期マンスフィールドフェロー:オンライン募集説明会実施

[マンスフィールド・フェローシップ・プログラム](#) 第 27 期マンスフィールドフェロー(2023 年~2024 年来日予定)のオンライン募集説明会が 8 月から 10 月にかけて毎月行われ、10 月 13 日に 3 回目で最後の説明会が行われた(締め切りは 10 月 31 日)。本プログラムはマンスフィールド財団の基幹プログラムで、米国連邦政府行政官が対象。

マンスフィールドフェロー同窓生が GRIPS イベントに登壇

10 月 22 日行われた[政策研究大学院大学\(GRIPS\)](#)による「[GHIPP ウェビナー:第十三回ヘルスセキュリティダイアログ “COVID-19 and Beyond:米中関係~ヘルスや環境問題における地政戦略的競争”](#)」に、マンスフィールドフェロー同窓生(第 7 期生)の[ポール・リネハン博士](#)(元国防総省国家情報開示政策委員会インド太平洋部長、CEO Secure Knowledge Consulting, LLC)が登壇した。

財団関連記事や報道のご紹介

◆ジャーナリズム理事長、米国の PBS テレビの北朝鮮関連ニュースでインタビュー

10 月 13 日、サリバン米大統領補佐官(国家安全保障担当)がワシントン DC で韓国大統領府の徐薫(ソ・フン)国家安全室長と会談したことを受けて報道された PBS テレビの北朝鮮関連の特集で、マンスフィールド財団のフランク・ジャーナリズム理事長がインタビューを受けた。以下より視聴可。

PBS NewsHour Live episode (2021 年 10 月 13 日)

[N. Korea flexes nuclear power amid regional arms race, wants U.S. to end 'hostile policy](#)

ジャーナリズム理事長のインタビューは [3:22 から](#)

マンスフィールド財団プログラム参加者のダニエル・スミス氏がワシントン・ポスト紙に寄稿

[日米次世代パブリック・インテレクチュアル・ネットワーク・プログラム](#)の第 3 期参加者で、コロンビア大学政治学部及び国際公共政策大学院のダニエル・スミス客員准教授のコメンタリー記事が 10 月 6 日付けの米ワシントン・ポスト紙に掲載された(以下のリンク参照)。

[Japan's new prime minister is a third-generation politician. That's more common than you might think](#) (The Washington Post、2021 年 10 月 6 日)

同記事は、クーリエ・ジャポンに日本語版が掲載

[岸田文雄新首相も「3 世議員」 米研究者が分析「なぜ日本の政界はこれほどまでに世襲政治家が多いのか」](#)(クーリエ・ジャポン、2021 年 10 月 11 日)

今後のイベントのご案内

◆PhRMA 主催「PhRMA Translational Research Symposium」が 12 月 14 日(土)開催

2021 年 12 月 14 日(土)、[米国研究製薬工業協会\(PhRMA\)](#)主催の「[PhRMA Translational Research Symposium~多様なキャリア形成が創薬の未来を拓く~](#)」が開催される予定です。詳細・申し込み方法については [PhRMA のウェブページ](#)、またチラシ([PDF](#))をご参照ください。

(関連:[マンスフィールド-PhRMA 研究者プログラム](#))

第 26 期マンスフィールドフェロー紹介(5)

マンスフィールド財団東京事務所では、[マンスフィールド・フェローシップ・プログラム](#)で来年夏に研修開始予定の第 26 期生について紹介しています。今回は、ティン・メイ・チャウ氏とリリー・デュワン氏を紹介します。

ティン・メイ・チャウ 第 26 期マンスフィールドフェロー(2022-2023 年)

米国国土安全保障省 連邦緊急事態管理庁(FEMA) 予算部長



生涯教育を信じるものとして、名誉あるマンスフィールド・フェローシップ・プログラムの参加者に選ばれたことを光栄に思います。中国海南省の小さな農村で育った若い女性として、村の外に広がる大きな世界を探求したい、様々な文化や言語、生き方を学びたいという強い気持ちを持っていたことを思い出します。私たちは自分とは違う人々を探求し繋がることで、人類の多様性、優しさ、包含性に真価を見出すようになるのです。

私は、公益や地域社会サービスの重要性を強く感じ、公務員の職に就きたいと思うようになりました。米国保健福祉省や米国国際開発庁(USAID)、そして現在の勤務先である連邦緊急事態管理庁(FEMA)と、15 年以上連邦政府で働いてきました。公務員になって最初の上司に言われた「公僕として、あなたは金銭的にはお金持ちではないかもしれない。でも、あなたは自分のほとんどの時間を社会に奉仕しているのだから、精神性や国への貢献という点であなたは間違いなく豊かになりますよ」という言葉を今でも覚えています。その言葉は、私の胸にすくとんと落ちました。職務上の経験は、メンタルヘルスの助成金や健康保険や社会保険の給付の交付業務に始まり、低所得者のための無料地域診療所への資金支援などあらゆる分野の業務をこなしてきました。また、災害復興拠点立ち上げの資金援助や、新型コロナウイルスワクチンの配布、様々な対外援助プログラムの監督、洪水保険契約者のための数百万ドルの資金管理などを担当しました。私がしてきたこと、いえ、私たちがしてきたことの全ては米国民に恩恵を与えるものです。そして今、私は公共奉仕における国際協働についての視野をさらに広げたいことを願っています。災害復興支援、緊急管理、災害資金の管理などの分野で、日本がどのように市民のニーズに応えているのかを学ぶ機会を楽しみにしています。可能であれば、高齢化社会、ジェンダー問題、環境変化の課題に日本がどう取り組んでいるのかについても学びたいと思っています。

また、新しい友人を作り、日本語を学び直して、日本という美しい国を旅することも楽しみにしています。マンスフィールド研修から学んだことは、今後、私の国際協働や災害管理の知識を高めると信じています。日本はアジアにおける米国の強固な同盟国であり、世界第 3 位の経済大国であるので、帰米の際には、災害管理やその他両国間の重要な分野において、より堅固なパートナーシップを築くための新しい機会を広げることには貢献できればと願っています。

リリー・デュワン 第 26 期マンスフィールドフェロー(2022-2023 年)

米国保健福祉省 米国食品医薬品局 医療機器・放射線保健センター 政策分析官/化学者



こんにちは！米国食品医薬品局(FDA)医療機器・放射線保健センター(CDRH)のリリー・デュワンと申します。マンズフィールド・フェローシップ・プログラムの一員になれることを大変嬉しく思います。

CDRHは、全ての医療機器の製造・効能性・安全性の監督に加え、市販前認証を任務としています。過去9年のうち、7年は医療機器の審査官として前線で働き、何百もの体外診断用医療機器(IVD)申請を審査してきました。現在、私は、米国での医療機器の評価方法に直接に影響を与える規制プログラムを監督するCDRHの規制政策部で働いています。私の職場は、国際協調を促進するための政策やプログラムが実施できるように、様々な国の規制当局と関わりを持っています。

FDAに入局する前は、医療機器業界で10年働き、認定臨床検査室統括責任者として、年に150万以上のサンプルを取り扱う高複雑度臨床検査室の業務を日々監督し、FDAが行う新医療機器の市販前申請に参加しました。このような経験から、医療機器の全ライフサイクル、つまり初期の研究開発の段階からプロトタイプの確認と検証、そしてFDAの市販前申請と審査を経て市販後のモニタリング及び検査まで、幅広い知識を得ることができました。

最近の新型コロナウイルス感染症危機に鑑み、医療機器審査における国際的団結は、世界的大流行への効果的対応をするための重要な側面となっています。マンズフィールド・フェローシップ・プログラムに参加することで、日本の医療機器審査制度を内側から学び、さらなる国際協調と協調の機会を探求できることに感謝いたします。日本での研修中、同僚から医療機器の規制慣行を学ぶとともに、米国政府と医療機器産業に身を置いた立場から得た20年余の活きた経験を共有できることを楽しみにしています。

■このニュースレターは、関連団体、実施事業関係者のほか、以下の方々にお送りしています。

- ・当財団スタッフとの面談、取材、名刺交換、メール通信等により個人情報をご提供いただいた方
- ・当財団主催/後援のセミナー、講演会等にご参加いただいた方

■皆様からいただきました個人情報は当財団の主催または後援によるセミナー等のご案内の送付に使わせていただきます。

■ニュースレターの新規登録・配信停止または登録内容の変更は、お手数ですが以下のメールまでお知らせください。

tokyoinfo@mansfieldfdn.org

Maureen and Mike Mansfield Foundation Monthly Newsletter

November 1, 2021

Mansfield Fellowship 25th Class Update

We would like to introduce activities of the 25th Mansfield Fellows who started their placements at host agencies in September, such as inspection site visits, participation in meetings or business trips, below with photos.

[Program details](#)

[List of Host Agencies](#)

Jared Lane Koji Maeda

(Principal Analyst (Health), Health, Retirement, and Long-Term Analysis Division, Congressional Budget Office, U.S. Congress)

Host Agency: Japan Agency for Medical Research and Development (AMED)



From the left: Dr. Yoshinao Mishima, President of AMED, Jared Maeda, Mr. Katsufumi Jo, Executive Director, & Mr. Masahiko Noda, Managing Director, Department of International Strategy



Meeting with Dr. Mishima



With AMED staff

Sara Trettin

(Management and Program Analyst, Office of Educational Technology, U.S. Department of Education)

Host Agency: Elementary and Secondary Education Bureau, Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology



Visit to Komatsunagi Elementary School in Setagaya, Tokyo, with members of the Setagaya City Board of Education

Reinier Troy Villanueva

(C-17A Lead Airdrop Evaluator Pilot, Major, U.S. Air Force)

Host Agency: Disaster Prevention Solutions



From the left: Shinagawa Disaster Prevention Center, Storm Surge Prevention Center (Osaka), with Mr. Masami Kikuchi, President of Disaster Prevention Solutions

Other Mansfield Foundation-Related News

CFM Event: A Virtual Conversation with Amb. Kelley Currie

On October 6, the Mansfield Foundation held a virtual event of the [Corporate Friends of Mansfield \(CFM\)](#), inviting Ambassador Kelley E. Currie, who served as Ambassador-at-Large for Global Women's Issues in 2019. She discussed the impacts of the military takeover in Myanmar on international business interests in the country and the greater Southeast Asian region.

Second Webinar for the 26th Mansfield Fellows with Prof. Andrew Oros

On October 12, the D.C. Headquarters of the Mansfield Foundation held the second webinar for the 26th Mansfield Fellows who will come to Japan in the summer 2022, featuring [Professor Andrew Oros](#) of Political Science and International Studies, Washington College. He spoke on the theme of "Aging Allies", focusing on Japan's demographic shifts and their impacts on regional security. Prof. Oros is a participant of Cohort 2 of the [U.S.-Japan Network for the Future Program](#) and a scholar of Cohort 1 of the [Mansfield-Luce Asia Scholars Network](#).

Japan-U.S. Friendship Commission Thomas S. Foley Legislative Exchange Program Update

Three U.S. Members of Congress, together with a small number of experts on the U.S.-Japan relationship from the private and academic sectors, attended a dinner on October 19 in Washington, D.C., hosted by Mrs. Heather Foley, widow of Ambassador Thomas S. Foley. The late Amb. Foley served as the Speaker of the House of Representatives from 1989 to 1995 and as ambassador of the United States to Japan from 1997 to 2001, and was

known for his long commitment to public service and his leadership in strengthening U.S.–Japan relations. Mrs. Foley invited Members of Congress who have participated in previous [Foley Exchange](#) delegations, as well as those interested in participating in future exchanges, as an opportunity to engage with one another and learn about the U.S.–Japan relationship from experts.

Mansfield–PhRMA Research Scholars Program: The Sixth Online Seminar Held

On October 21, the Mansfield Foundation held the sixth online seminar for alumni participants of the [Mansfield–PhRMA Research Scholars Program](#), which the Mansfield Foundation implements with support from the Pharmaceutical Research and Manufacturers of America (PhRMA) . In this seminar, Mr. Masaki Kawasaki, Senior Manager of the Japan Research Institute (JRI) was invited as a guest speaker and talked on the theme of what Japan’s medical care desired in the post COVID–19 time should be like and exchanged opinions with the participants.

Mansfield–Luce Asia Scholars Network: Montana Retreat for Cohort 1 Implemented

The Mansfield–Luce Asia Scholars Network, which the Mansfield Foundation administers with generous support from the [Henry Luce Foundation](#), implemented an in–person retreat in Whitefish, Montana, for Cohort 1 scholars from October 22 to 25. The Mansfield Foundation’s in–person program took place for the first time since the COVID–19 pandemic began. 19 participants, consisting of 10 scholars (1 joining virtually from Manila, Philippines), 5 senior advisors, and a special guest from the State Department as well as 2 Mansfield Foundation staff, were in attendance. Attendees participated in deep discussions about their research as well as U.S.–Asia relations. Participants were also able to enjoy the beautiful Montana outdoors through a 3–hour hike at Glacier National Park together. Mansfield–Luce Asia Scholars.



The 27th Mansfield Fellows for 2023–2024: Information Sessions Held & Applications Closed

The Mansfield Foundation held 3 virtual information sessions every month from August to October with the last one held on October 13 to recruit the 27th Class of Mansfield Fellows, who will spend the one–year fellowship period in Japan from 2023 to 2024. The applications were closed on October 31. The [Mansfield Fellowship Program](#) is the Mansfield Foundation’s flagship program and is targeted at U.S. federal government employees.

Mansfield Fellow Alumni Speaks at GRIPS Event

A Mansfield Fellow alumni of the 7th Class, [Dr. Paul Linehan](#), CEO, Secure Knowledge Consulting, LLC, and former

Director, Indo-Pacific for the National Disclosure Policy Committee of the U.S. Department of Defense, appeared as a guest speaker at the [GHIPP Webinar-13th Global Dialogue on Health Security “COVID-19 and Beyond: US-China Geostrategic Competition on Health and Environment Issues”](#), which was held by the [National Graduate Institute for Policy Studies \(GRIPS\)](#) on October 22.

Mansfield Foundation-Related Media Coverage

President of the Mansfield Foundation Interviewed on North Korea news by PBS TV

Frank Jannuzi, President and CEO of the Mansfield Foundation, was interviewed by PBS TV on October 13, in a North Korea-related report when U.S. National Security Advisor Jake Sullivan met with the Republic of Korea (ROK) National Security Advisor Suh Hoon in Washington, D.C. The news can be watched in the link below.

PBS NewsHour Live episode, October 13, 2021

[N. Korea flexes nuclear power amid regional arms race, wants U.S. to end 'hostile policy](#)

You can also watch the interview of Mansfield Foundation President Jannuzi starting at [3:22](#).

Daniel Smith, participant of a Mansfield Foundation program, contributes to The Washington Post

Daniel M. Smith, the Gerald L. Curtis Visiting Associate Professor of Modern Japanese Politics and Foreign Policy in the Department of Political Science and School of International and Public Affairs at Columbia University, and also a participant of Cohort 2 of the [U.S.-Japan Network for the Future Program](#), contributed a commentary to the Washington Post dated October 6 below.

[Japan's new prime minister is a third-generation politician. That's more common than you might think](#) (The Washington Post, October 6, 2021)

You can also read the same article in Japanese in *Courrier Japon* below.

[岸田文雄新首相も「3世議員」 米研究者が分析「なぜ日本の政界はこれほどまでに世襲政治家が多いのか」](#)
(Courrier Japon, October 11, 2021)

Upcoming Events

“PhRMA Translational Research Symposium” to be Held on Saturday, December 14

[Pharmaceutical Research and Manufacturers of America\(PhRMA\)](#) will host “PhRMA Translational Research Symposium” on Saturday, December 14. For more information, please refer to the [PhRMA webpage](#), or see the flier [here](#).

(Also see, [Mansfield-PhRMA Research Scholars Program](#))

Introduction of Mansfield Fellows from the 26th Class (5)

This month, the Mansfield Foundation Tokyo Office introduces Ting Mei Chau and Lili Duan from the 26th class of the [Mansfield Fellowship Program](#), who are scheduled to start the fellowship program in summer 2022.

Ting Mei Chau, MFP 26 (2022–2023)

Budget Director, Federal Emergency Management Agency, Department of Homeland Security



As a person who believes in lifelong learning, I am honored to be selected for the prestigious Mansfield Fellowship Program. As a young girl growing up in a small rural village in Hainan, China, I remember always having a strong desire to explore the big world outside of my village, and learn about all of the different cultures, languages, and ways of life that surrounded me. By exploring and connecting to people who are different than ourselves, we learn to appreciate the diversity, the kindness, and the inclusiveness of the human race.

I became attracted to a public service career because I believe in public good and the importance of community service. With more than 15 years of service in the federal government, I have worked for Department of Human Services, the U.S. Agency for International Aid (USAID), and now the Federal Emergency Management Agency (FEMA). I still remember the words from my first supervisor in the government, “You might not be financially rich as a public servant, but you will definitely be rich in your spirit and your contributions to the nation because you will spend most of your time serving the public.”

Those words ring so true! My experience has run a gamut of areas, from providing mental health grants, health insurance and social security benefits, to funding free community clinics for low income individuals. I have managed funding for setting up disaster recovery sites, distributing COVID vaccines, overseeing various foreign aid programs, and managing millions in funds for flood insurance policy holders. Everything I have done, we have done, has been for the benefit of the American people. Everything we do touches lives of millions. And now, I am hoping to expand my horizons to international collaboration in public service. I very much look forward to my assignment in Japan where I can learn how Japan meets the needs of their citizens for disaster recovery services, emergency management, and the management of funding for disasters. If possible, I would also like to learn about how Japan tackles the challenges of an aging population, gender issues, and environmental changes.

I also look forward to making new friends, regaining my Japanese language skills, and exploring the beautiful country that is Japan. I believe what I learn from this assignment will enhance my knowledge of international collaboration and disaster management. Having Japan as our strongest Asian ally and the third largest economy in the world, I hope my return to the U.S. will open up new opportunities for a stronger partnership in Disaster management and other critical areas between the two countries.

Dr. Lili Duan, MFP 26 (2022–2023)

Policy Analyst/Chemist, Office of Regulatory Programs, Center for Devices and Radiological Health (CDRH), Food and Drug Administration (FDA), U.S. Department of Health and Human Services



Hello, this is Lili Duan from the Center for Devices and Radiological Health (CDRH) at FDA. I am thrilled to join the Mansfield Fellowship program family.

CDRH is responsible for the premarket approval of all medical devices, in addition to overseeing the manufacturing, performance and safety of these devices. In the past nine years, I have worked as a frontline medical device reviewer for seven years and reviewed hundreds of in vitro diagnostic medical device submissions. I also served as a consumer safety officer and participated in inspections and complaint investigations. Now I work in the Office of Regulatory Programs overseeing regulatory programs that have direct impact on how medical devices are evaluated in the US. My office frequently engages with regulatory authorities from other countries so that we can implement policies and programs that encourage international harmonization.

Prior to joining FDA, I worked in the medical device industry for a decade. As a certified Clinical Laboratory Director, I supervised the daily operation of a high complexity clinical laboratory handling more than 1.5 million samples per year and participated in new devices' premarket applications to FDA. My experience has allowed me to gain extensive knowledge of the complete medical device lifecycle, i.e., from early Research & Development stage, to prototype validation and verification, to FDA premarket submission and review, as well as post market monitoring and inspections.

■ We send this newsletter to organizations/persons related to the Mansfield Foundation's programs, and:

- Those who provide us with personal information through meetings, business-card exchanges, interviews, and e-mail correspondences with the Mansfield Foundation's staff

- Those who attended past events hosted or sponsored by the Mansfield Foundation

■ We would like to use the personal information provided in the manners above when we send invitations of events hosted or sponsored by the Mansfield Foundation.

■ Please contact the email address below to subscribe/unsubscribe or to change your personal information.

tokyoinfo@mansfieldfdn.org

[モーリーン・アンド・マイク・マンズフィールド財団 日本語ホームページ](#)



**THE MAUREEN AND
MIKE MANSFIELD FOUNDATION**

Connecting People and Ideas to Advance Mutual Interests in U.S.-Asia Relations

 [Facebook](#)

 [Twitter](#)

 [Email](#)

 [Support](#)